

4-2 グランドデザイン【フェーズ1：初動期の取り組み】 現段階でできることから着手

基本的な考え方

- ・近代化遺産の保全、活用に対する市民意識を醸成するため、ソフト事業等すぐにもできることから着手します。
- ・ランプ小屋や赤レンガ倉庫を市民共有の資産として活用するとともに、それらをつ結び回遊性を高めることにより、地域全体の魅力向上を図ります。
- ・敦賀ノスタルジアムの実現を先導するプロジェクトとして、赤レンガ倉庫の耐震補強及び一時利用、ランプ小屋の見える化やライトアップ、市民参加型レンガ舗装に取り組みます。



4-3 グランドデザイン【フェーズ2：市民憩いのガーデンスペース】 民間事業者等の用地の活用について調整が整った段階で着手

基本的な考え方

- ・ 休止中の線路を活用し、港と鉄道の歴史を体感しながら、多世代がゆつくりと憩うことができる快適な「緑の公園」を創出します。
- ・ 赤レンガ倉庫は、独特の雰囲気を通年で味わうことができるように、飲食機能や歴史などを学べるミュージアム機能、市民が多目的に利用できる貸館機能の導入を図ります。



4-4 グランドデザイン【フェーズ3：敦賀ノスタルジアムワープ】 金ヶ崎周辺に一定の賑わいが創出された段階で民間活力主体による整備を期待

基本的な考え方

- ・敦賀ノスタルジアムの核となる交流拠点として「東洋の波止場」と呼ばれた往時のまちなみを再現し、ノスタルジアムを体感できる空間とします。
- ・欧州に開かれた玄関口の歴史についての学習機能はもちろん、民間による飲食機能等の立地を期待し、賑わいの憩いの空間とします。

敦賀ノスタルジアムの中心拠点を整備
 欧亜国際連絡列車と欧亜国際連絡船のターミナルとして「東洋の波止場」と呼ばれ、多くの人で賑わい、様々なドラマが生まれたであろう鉄道構構にあったモダンでエキゾチックな街並みを民間活力により当時そのままに再現し、歴史資料の展示機能や異国情緒にこだわった飲食サービス、小売機能等を導入

海辺のカフェを誘致
 金ヶ崎周辺で休日をゆっくりと楽しめるように、緑地越しに敦賀湾を臨むロケーションを活かしてカフェを誘致

ラーメン機丁などへの利活用
 古い倉庫群の独特の雰囲気を活かしてラーメン機丁などの飲食機能を導入を図る
 築百年以上の米穀用倉庫群の一部を、観光物産、飲食、ミニミュージアム機能を有する複合施設に転用した事例

レトロ列車の運行
 敦賀港線の線路を活かし、蒸気機関車によるレトロ列車の運行

桜並木の充実
 花換まつりが行われる恋の宮として知られ、桜の名所として名高い金ヶ崎宮まで導く桜並木の充実

金ヶ崎隧道の地域活性化への活用
 歴史や重厚さを感じさせる空間特性を活かしてイベントスペースとして活用したり、醸造や熟成に適する地下空間としての特性を活かして、魚介やリンゴ（人道の物語に因んで）を原料とした新たな特産品の製造や貯蔵空間など地域活性化に活用

ボードウォーク延伸による快適な回遊ネットワーク形成
 舟溜り周辺に向けてボードウォークを延伸し、快適な海辺のプロムナードを創出、回遊ネットワークを形成

既存資源を磨く取り組み
回遊性を高める取り組み

回遊性の向上

回遊性の向上

イベントスペースとしてコンサートを開催

特産食料の熟成蔵として活用

第5章 整備構想の実現に向けて

5-1 段階的整備の考え方

